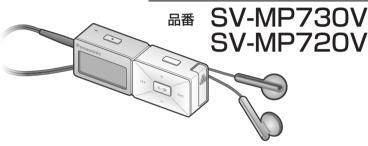
Panasonic®

取扱説明書
Operating Instructions
デジタルオーディオプレーヤー
Digital Audio Player

品番 **SV-MP730V**
SV-MP720V

このたびは、デジタルオーディオプレーヤーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」(38～41ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書付き

上手に使って上手に節電

便利メモ（おぼえのために、記入されると便利です。）

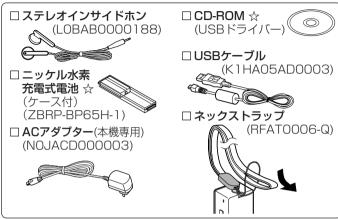
お買い上げ日	年　月　日	品番	SV-MP730V/SV-MP720V
販売店名	☎（　　）　ー		

SER.NO. 本体裏面にあるシリアルナンバーをご記入ください（　　　　　）

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504　大阪府門真市松生町1番15号

RQTT0843-S
M0705SF0

付属品の確認

買い替えは、かっこ内の品番(2005年3月現在)でお買い上げの販売店にご注文ください。

☆印以外は、松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense

http://www.sense.panasonic.co.jp/
TEL 06-6907-9144
パナセンスカスタマーセンター

必要なパソコンのシステム構成

OS(日本語版): Microsoft® Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000 Professional、Windows® XP Home Edition/Professional

- Microsoft® Windows® 3.1、Windows® 95、Windows® 98、Windows NT® および Macintosh®には対応していません。

ドライブ: CD-ROMドライブ

USBドライバー：Windows® 98SEのみ、付属のUSBドライバーのインストールが必要です。

- アップグレードしたOS環境での動作は保証いたしません。
- プリインストールされていないOS環境での動作は保証いたしません。
- マルチCPUまたはマルチブート環境には対応していません。

もくじ

充電式電池(付属)を充電する　購入直後はまず充電!

1 充電式電池を入れる

本体裏面

2 充電する

- 電源「入、切」に関係なく充電できます。

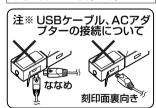
充電中…

- ACアダプターを接続すると表示パネルに"充電中…"と表示されます。
- USB端子にななめや裏向きで無理に挿入すると端子が変形して、本機やACアダプターの故障の原因になります。
- **本機の電源が「切」で、パソコンとUSB接続しているときも充電されます。**(☞8ページ)
  USBハブやUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証しません。
- 本機に付属しているUSBケーブル、ACアダプターをお使いください。付属品以外を使用すると故障の原因になります。

注※ ▲ 矢印刻印面を上にまっすぐ挿入

ACアダプター

端子の向きを合わせる

フル充電時間：約6時間
充電が終わると表示が消えます。

■ 電池残量表示

多 → 少→充電してください

お知らせ

- 充電中は本機を使用できません。
- 電源が切れた状態でも、約0.1 Wの電力を消費しています。長期間使用しないときは、節電のためACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
- 電池残量が少なくなり表示が点滅しているときは、表示パネルのバックライトは点灯しません。

音楽を聞くまでの操作の流れ

まず　音楽CDをパソコンに録音しておく（☞ 6ページ）

Windows® 標準ソフト「Windows Media Player」を使います。

本機はWMAとMP3に対応しています。

音楽配信サービスからダウンロードした音楽コンテンツ（WMAまたはMP3）も使用できます。詳しくは音楽配信サービスのサイトをご覧ください。

つぎに　本機をパソコンに接続する（☞ 8ページ）

Windows® 98SEをお使いの場合だけ、付属のCD-ROMを使ってドライバーのインストールが必要です。（☞ 9ページ）

さらに　パソコンから本機に録音する

（☞ 9ページ）

録音した音楽ファイルを本機にドラッグアンドドロップします。

そして　本機で音楽を聞く

（☞ 16ページ）

Windows Media Playerについて

- Version 8以前の場合、Version 9にアップグレードすることをお奨めします。お使いのバージョンは、[ヘルプ]の[バージョン情報]で確認してください。
- Version 9の場合、MP3に変換するには、別途プラグインソフトウェアが必要です。
- Version 10のファイル転送機能[同期]には対応していません。
- 弊社ホームページの最新情報もご覧ください。
  http://panasonic.jp/support/d_snap/

操作方法については[ヘルプ]を、最新情報やプラグインソフトウェアについては、Windows Media Playerのホームページを参照してください。

音楽CDをパソコンに録音する

Windows Media Player（以降WMPと記載）はVersion 9または Version 10（以降WMP9、WMP10と記載）を例に説明します。

1 音楽CDをパソコンに入れて、WMPを起動する

[スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[エンターテイメント]→[Windows Media Player]を選びます。（表示は一例です。）

- **はじめて起動したとき**
  WMPのセットアップ（インストール）画面が表示されます。画面にしたがって操作してください。

2 録音する前にWMPのコンテンツ保護を無効に設定する

① [ツール]メニューの[オプション]を選ぶ。([ツール]メニューが表示されない場合は右上の▭をクリックしてください。)
② WMP9：[音楽の録音]を選ぶ。
　WMP10：[音楽の取り込み]を選ぶ。
③ WMP9：[保護された音楽を録音する]の☑マークをはずす。
　WMP10：[取り込んだ音楽を保護する] の☑マークをはずす。
④ [OK]を選ぶ。

3 曲を選び録音する

<WMP9の場合>

WMP9ではじめて録音するときは(☞7ページ)

録音がはじまります。

<WMP10の場合>

WMP10ではじめて録音するときは(☞下記)

録音がはじまります。

録音した音楽の保存先

保存先の設定を変更していない場合、以下のフォルダーに保存されます。
マイドキュメント（またはMy Document）のマイミュージック（またはMy Music）フォルダー　（OSにより表示は異なります。）

お知らせ

WMP9またはWMP10ではじめて録音するときは

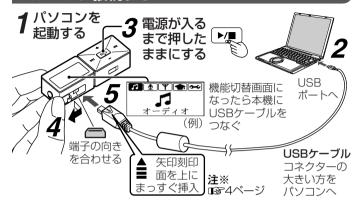
WMP9：「録音オプション(1/2)」の画面が表示されます。
WMP10：「取り込みオプション(1/2)」の画面が表示されます。

① WMP9：「録音した音楽にコピー防止を追加しない」を選び、
  WMP10：「取り込んだ音楽にコピー防止を追加しない」を選び、
  一番下の説明を読んで□に☑マークをつける。
② [次へ]を選ぶ。
③「現在の形式設定を変更しない」を選ぶ。
④ [完了]を選ぶ。

WMP9の画面例

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは､著作権法上、権利者に無断で使用できません。

本機に音楽を録音する（ダウンロード）

パソコンに接続する

接続が完了すると“USB接続中”が表示され音楽録音が可能になります。

次のような場合は“充電中…”と表示されます。

- 本機の電源が「切」の状態でパソコンに接続したとき（手順***3***からやり直してください。）
- Windows® XP / Me / 2000のドライバーの自動インストール中（パソコンが本機を認識しても“USB接続中”に表示が変わらないときはケーブルを抜いて上記にしたがって再度接続してください。）
- **Windows® 98SEのパソコンにはじめて接続したとき**（☞9ページ、ドライバーのインストールをしてください。）

お知らせ

- USBケーブルはできるだけ伸ばしてください。ケーブルを曲げるとデータの破損やパソコンの不具合の原因になります。
- USBハブまたはUSB延長ケーブルで接続した場合の動作は保証しません。
- USB端子にななめや裏向きで無理に挿入すると端子が変形して、本機や接続する機器の故障の原因になります。
- パソコンや本機に音楽ファイルを録音しているときは、USBケーブルの抜き差しをしないでください。データの破損やパソコンの不具合の原因になります。

■ パソコンと接続したあとで(ドライバーのインストール)

- **Windows® XP / Me / 2000の場合**
  付属のCD-ROMによるドライバーのインストールは不要です。
- **Windows® 98SEの場合**
  はじめてパソコンに接続した場合だけ以下の手順が必要です。
  パソコンの画面に「新しいハードウェアの追加ウィザード」（右図）が表示されます。

  ① 付属のCD-ROMをパソコンに入れて、[次へ]を選ぶ。
  ② [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）]を選び、[次へ]を選ぶ。
  ③ [CD-ROM]にのみチェックマークをつけて、[次へ]を選ぶ。
  ④ [次へ]を選ぶ。
  ⑤ [完了]を選ぶ。

マイコンピュータで本機が「リムーバブルディスク」として表示されていることを確認してください。
本機に“充電中 … ”と表示されているときは、ケーブルを抜いて前ページにしたがって再度接続すると“USB接続中”と表示されます。

音楽（または教材）ファイルを録音する

下記説明画面は一例です。

① マイコンピュータを開き、本機(リムーバブルディスク)を開く

② PLAYERフォルダーを開く

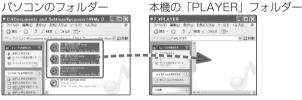
（次ページへつづく）

③ 録音した曲が保存されたパソコンのフォルダーを開く

マイミュージック（My Music）フォルダーの中から録音した曲が保存されているフォルダーを開いてください。（保存先を変更した場合は、そのフォルダーを開いてください）

④ ●曲単位で録音する

手順③で開いたフォルダーから、WMAまたはMP3のファイルをPLAYERフォルダーへドラッグアンドドロップします。

パソコンのフォルダー　　本機の「PLAYER」フォルダー

●アルバム単位で録音する

WMAまたはMP3のファイルが保存されたすぐ上のフォルダーごとPLAYERフォルダーへドラッグアンドドロップします。本機ではフォルダー名がプレイリスト名として表示されます。

パソコンのフォルダー　　本機の「PLAYER」フォルダー

本機の表示パネルに“転送中…”と表示され、転送が終わると“USB接続中”表示に変わります。

●**WMP9で曲ファイルを本機に転送する場合は**（☞37ページ）

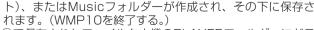
■ パソコンから本機を取り外すとき

- **Windows® XP / Me / 2000 の場合：**
  本機の表示が“転送中…”でないことを確認してください。
  パソコンの画面右下の を右クリックし、「ハードウェアの安全な取り外し」※を選んで画面表示に従ってUSBケーブルを外してください。
  USBケーブルを外すと、本機の電源が切れます。
  ※ OSによって表示が異なります。
- **Windows® 98SEの場合：**
  本機の表示が“転送中…”でないことを確認し、USBケーブルを外してください。

お知らせ

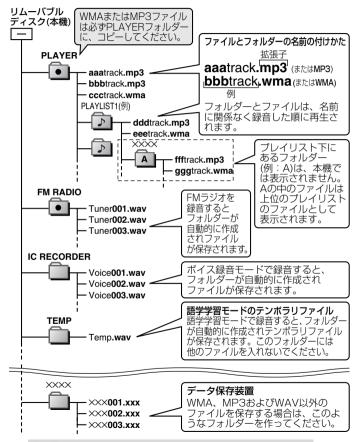
- トラック名、フォルダー名の最初の20文字が本機に表示されます。
- 本機は、UnicodeとJIS X0208の文字コードに対応しています。対応コード以外の場合、正しく表示できないことがあります。
- MP3 ID3 V1タグ,ID3 V2.3タグおよびWMAタグに対応しています。本機ではファイルに添付された曲名などのタグ情報が表示されます。
- ID3タグがない場合「filename.mp3」など、ファイル名が表示されます。
- パソコンから直接本機のWMAまたはMP3ファイルを再生することはできません。
- MP3に記録されたID3タグの言語と、本機の言語設定が異なると、正しく表示できません。
- DRM（PDDRM®、Microsoft®）に対応しています。

●WMP10で曲ファイルを本機に転送する場合は

① WMP10を起動する。
② 「再生リストの編集」を選び、録音する曲を同期リストに追加し、[OK]を選ぶ。
③ 「同期の開始」を選ぶ。
本機へのダウンロード先を指定できません。転送した曲（またはフォルダー）は、本機の直下（ルート）、またはMusicフォルダーが作成され、その下に保存されます。（WMP10を終了する。）

④ ③で保存されたファイルを本機のPLAYERフォルダーにドラッグアンドドロップして移動する。

本機のフォルダー構造

■ パソコンで見た本機のフォルダー構造

：本機でプレイリスト名として表示され、選択できます。

■ 本機でのプレイリスト表示

PLAYERフォルダーと、パソコンで作成したフォルダー名、およびFM録音して自動作成されるFM RADIOフォルダーが本機のプレイリストとして表示されます。

- フォルダーを作らずに録音した曲も、フォルダーごと録音した曲もPLAYERフォルダーに入っています。

PLAYER
作成したプレイリスト ----- PLAYLIST1
FM RADIO
プレイリスト選択

お知らせ

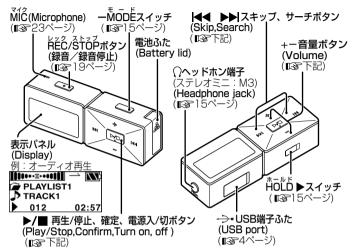
- 最大記憶容量まで録音できますが、本機で表示できるのは以下のとおりです。

SV-MP720V	最大383曲(ファイル)、19フォルダーまで
SV-MP730V	最大511曲(ファイル)、49フォルダーまで

（フォルダー数はPLAYER内に作成できる ♪ の数です。ファイル数は、PLAYER、FM RADIO、IC RECORDER各フォルダーのファイル数の総合計です。ファイルとフォルダーの最大数は記録状態により少なくなることがあります。）

- 本機に録音したWMAおよびMP3ファイルはパソコン側に移動やコピーができません。移動やコピーをするとパソコンのOSが不安定になりブルーバック画面などになる場合がありますので、しないでください。ただしパソコンから本機のファイルを削除することはできます。
- パソコンで本機をフォーマットしないでください。本機の動作不具合の原因になります。
- Windows Media Audio 9(WMA9)までに対応しています。
  WMA9 Professional/Lossless/VoiceとMBR※には対応していません。
  ※ Multiple Bit Rate: 1つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式。
- VBRフォーマットのMP3ファイルを使用すると、本機は正常に機能しません。

各部のなまえとはたらき

■ 再生の基本操作

+ または −	音量調節	+ または − を押す(0-25)　音量　15 PLAYLIST1 TRACK1
早戻し 早送り ⏮または⏭	とび越し (スキップ)	押す
早戻し 早送り ⏮または⏭	早送り早戻し (サーチ)	再生中に押したままにする
− MODE	A-Bリピート AB区間を繰り返し再生する	再生中に開始点Aで − MODE を押し、同一曲内の終了点Bでもう一度押す キャンセルするには、もう一度 − MODE を押す
▶/■	再生／停止	押す 停止中に再度 ▶/■ を押すと、前回停止したところから再生します。[リジューム機能]
▶/■	電源入／切	▶/■ 押したままにする

指定時間以内に、次の操作を行ってください
指定時間以上操作を中断すると、元の画面に戻ります。

■ 機能切替

機能切替画面（例：オーディオモード）

モードの切替方法

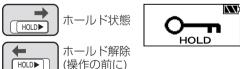
① 電源が入るまで [▶/■] を押したままにする
前回選んだモードの画面になります。
② [－MODE] を機能切替画面が出るまで押したままにする
③ **10秒以内** [⏮] または [⏭] を押して、上記の機能(モード)を選ぶ
④ **10秒以内** [▶/■] を押して、確定する
指定時間内に操作できなかったときは①からやり直してください。

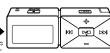
■ ホールド機能

誤って操作ボタンが押されても受け付けないようにする機能です。
次のようなことを防ぎます。
- 知らない間に電源が入り、電池が消耗する。
- 使用中に誤ってボタンが押され、録音や再生が中断する。

HOLD▶ ホールド状態

HOLD▶ ホールド解除
(操作の前に)

HOLD

■ ステレオインサイドホン

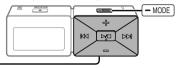
必ず付属のステレオインサイドホンをお使いください。

奥までしっかり差し込んでください。(長い方を右耳へ)

音楽を聞く (オーディオモード)

本機に録音したプレイリスト内の曲が再生できます。(☞12ページ 📁 📁)

準備: 聞きたい曲(音楽ファイル)を録音する(☞8ページ)

操作の前にホールド解除する

1

電源が入るまで押したままにする

前回選んだモードが表示されます。

すでに"オーディオ"が選ばれているときは、手順***2***の再生停止の画面(※)になります。

再生停止の画面で ▶/■ を押すと
表示されているプレイリスト内の曲を聞くことができます。

"オーディオ" が選ばれていないときは

2

または

3秒以内

押して、"オーディオ"を選ぶ

10秒以内

押して、確定する

※
プレイリスト名 -- PLAYLIST1
曲名 -- TRACK1
001 00:00
曲番号 演奏経過時間

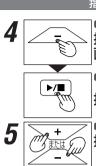
例：PLAYLIST2のTRACK2を聞く場合

3

再生停止中に

機能切替画面が出るまで、押したままにする

指定時間以内に、次の操作を行ってください
指定時間以上操作を中断すると、元の画面に戻ります。

4

10秒以内
押して、モード設定画面を表示させる

プレイリスト

10秒以内
押して、確定させる

PLAYER
PLAYLIST1
PLAYLIST2
プレイリスト選択

5

10秒以内
押して、プレイリストを選ぶ

PLAYER
PLAYLIST1
PLAYLIST2
プレイリスト選択

10秒以内
押して、確定する

- 手順***5***のあと、［▶/■］を押すとプレイリスト内の全曲を聞くことができます。
- 手順***5***でPLAYERを選び、［▶/■］を押すと本機に録音した曲を全て聞くことができます。

6

10秒以内
押して、トラック（曲ファイル）を選ぶ

PLAYLIST2
TRACK2
TRACK1
トラック選択

7

10秒以内
押して、再生する

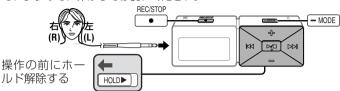
選んだ曲からプレイリスト内の最終曲まで再生すると1曲目に戻って停止します。

- “オーディオ”を選んだあと、指定時間以上各操作を中断すると、元の画面に戻ります。このときは16ページ手順***3***からやり直してください。
- 節電のため、再生停止の状態が15秒以上続くと、電源が「切」になります。「切」になるまでの時間は調整できます。**（自動電源オフ☞31ページ）**
- **“PROTECTED”**が表示されたら（☞37ページ）
- 再生の基本操作は（☞14ページ）

FM放送を聞く (FMラジオモード)

インサイドホンのコードはFMアンテナを兼ねていますので、伸ばしてお使いください。

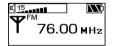
■ 手動で聞く（マニュアル選局）

1
電源が入るまで押したままにする

前回選んだモードが表示されます。

すでに“FMラジオ”が選ばれているときは、手順***2***を省略し、手順***3***から行ってください。

3秒以内
押して、“FMラジオ”を選ぶ

10秒以内
押して、確定する

3

押して、選局をする

マニュアル

- 自動選局（オートチューニング）するには：
  周波数が動き始めるまで押したままにすると放送局を受信し、自動停止します。
- TV音声1～3chも受信できます。
  90.00 MHz ↔ TV 1ch ↔ TV 2ch ↔ TV 3ch ↔ 76.00 MHz

■ 放送局を記憶させて聞く(FM1, FM2プリセット選局)

準備：あらかじめ放送局を記憶させる(☞20ページ)

1 18ページ手順 ***2***のあとで

[－MODE] 押して、"FM1"または "FM2"を選ぶ

(押すたびに切り替わる)

2 [⏮ または ⏭] 押して、選局をする

例：FM1

FM放送を録音する

FM放送を受信中に録音できます。

ポンと押して、録音を始める

FM RADIOプレイリストが自動的に作成されファイルが保存されます。

● RECORDING
FM RADIO
Tuner001.wav
02:57

録音時間（録音可能時間の表示 ☞下記）

最大総録音時間のめやす

(最大記憶容量までFM放送のみ録音時)

SV-MP730V　13時間
SV-MP720V　6時間30分

録音しているときは、充電式電池を外さないでください。録音中のデータがすべて失われます。

録音可能時間を表示	[－MODE] 押す もう一度押すと録音時間の表示に戻ります。
録音停止	[REC/STOP ●] 押す

録音した内容を聞く

準備：オーディオモードの手順*5*でFM RADIOを選ぶ(☞17ページ)

押して、再生を始める

15
FM RADIO
Tuner001.wav
▶ 001 00:21

• 再生の基本操作は（☞14ページ）

放送局を記憶させる (FM1, FM2プリセット)

FM1：20局まで記憶できます。 **FM2**：10局まで記憶できます。
準備：19ページの手順*1*でFM1またはFM2を選ぶ
FM1またはFM2を選んでおかないと、"オートプリセット"が選択できません。

■ 自動で記憶させる(オートプリセット)

1 MODE
機能切替画面が出るまで、押したままにする

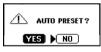
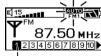
2 **10秒以内**
押して、設定画面を表示させる

3 **10秒以内**
押して、オートプリセットを選ぶ

4 **10秒以内**
押して、 YES を選ぶ

10秒以内
押して、オートプリセットを実行する

チャンネル

オートプリセットが始まり、受信した放送局が順にチャンネルに記憶されます。終了すると自動的に チャンネル1の放送局を受信します。

■ 手動で記憶させる(マニュアルプリセット)

1

押して、設定画面を表示させる

2

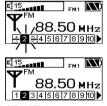
10秒以内

押して、周波数を選ぶ

- 周波数が動き始めるまで押したままにすると放送局を受信し、自動停止します。（オートチューニング）

3

10秒以内

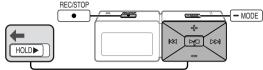
押して、チャンネルを選ぶ

10秒以内

押して、確定する

記憶したいチャンネル数だけ手順*1*から*3*を繰り返す

音声を録音する（ボイス録音モード）

操作の前にホールド解除する

1

電源が入るまで押したままにする

前回選んだモードが表示されます。

すでに“ボイス録音”が選ばれているときは、手順***2***を省略し、手順***3***から行ってください。

2

3秒以内

押して、“ボイス録音”を選ぶ

10秒以内

押して、確定する

Total 001
SP - 12:59:59

録音モード（☞30ページ） 録音可能時間

本機に記録されたファイルがないときは、“NO TRACK PLAY”が表示されます。

II STANDBY
IC RECORDER
Voice001.wav
SP 00:00

3

ポンと押して、録音を始める

● RECORDING
IC RECORDER
Voice002.wav
SP 00:00

録音時間
(録音可能時間の表示☞23ページ)

指定時間以内に、次の操作を行ってください
指定時間以上操作を中断すると、元の画面に戻ります。

4 マイクに向って話す

5

押して、録音を停止する

- IC RECORDERプレイリストが自動的に作成されファイルが保存され、録音待機状態になります。
- 録音しているときは、充電式電池を外さないでください。録音中のデータがすべて失われます。

録音可能時間を表示	[－MODE] 押す もう一度押すと録音時間の表示に戻ります。

■ 再度、録音するには

22ページ手順***3***～***5***を繰り返し行ってください。

- 5分以上録音待機状態が続くと電源が切れます。

録音した音声を再生する

22ページ手順*2*のあと

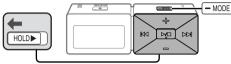
[▶/■] 押す

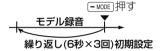
最後に録音した音声ファイルが再生され、初めに録音したファイルに戻って停止し、録音待機状態になります。

- 再生中にもう一度押すと停止し、録音待機状態になります。
- 再生の基本操作は(☞14ページ)

語学学習機能を使う(語学学習モード)

準備: 語学学習に使うモデル録音(教材ファイル)は市販のCDやインターネットから選び、パソコンに録音したあと、本機のPLAYERフォルダーに録音する(☞8ページ)

操作の前にホールド解除する

モデル録音(教材)を繰り返し聞く (トレースバック)

指定したところの6秒前から、繰り返し聞くことができます。

●トレースバックの設定

1 15ページの「モードの切替方法」に従って語学学習モードにしたあと、

機能切替画面が出るまで、押したままにする

2

10秒以内

押して、モード設定画面を表示させる

3

10秒以内

押して、リピート設定を選ぶ

10秒以内

押して、確定する

指定時間以内に、次の操作を行ってください
指定時間以上操作を中断すると、元の画面に戻ります。

4 （10秒以内）押して、“TRACE”を選ぶ

＋ または －

MANUAL / TIME / TRACE　TRACE
トレースバック

（10秒以内）押して、確定する

▶/■

A→B　TRACE
A-B リピート

5 （10秒以内）押して、トレースバックを選ぶ

⏮ または ⏭

A→B　TRACE
トレースバック

（10秒以内）押して、確定する

▶/■

リピート設定

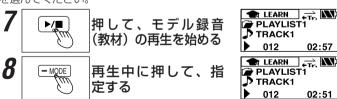
6 （10秒以内）押して、元の画面に戻す

－MODE

トレースバック表示

LEARN　←Tr.
PLAYLIST1
TRACK1
012　00:00

●繰り返し聞く

16ページ「音楽を聞く」の手順***3***～***6***を参考にして再生するモデル録音を選んでください。

指定したところの6秒前から再生が3回繰り返されます。

- 一度設定すると次回からは手順***1***～***6***は必要ありません。（リピート設定を変更した場合は再度設定してください）
- トレースバック時間と繰り返し回数はリピート設定で変更できます。(☞30ページ)
- 再生の基本操作は(☞ 14ページ)

モデル録音(教材)と録音した音声を比べる (COMPARE)

モデル録音(教材)と録音した自分の音声を交互に再生し、発音を比較します。
16ページ「音楽を聞く」の手順***3***～***6***を参考にして再生するモデル録音を選んでください。

1

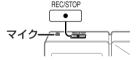
押して、モデル録音(教材)の再生を始める

2

押して、録音を始める

COMPARE
RECORDING...
TRACK1
00:00

3 “RECORDING…”が表示されたら
マイクに向かって話す

4

押して、録音を終わる

“PLAYING...”が表示されたあと、モデル録音(教材)と録音された自分の音声が3回再生されます。繰り返し回数は変更できます。
(☞30ページ、リピート設定)

お知らせ

- モデル録音(教材)は音声を録音した時間分だけさかのぼったところから再生されます。
- トレースバック再生中またはA-Bリピート再生中は、REC/STOP ● を押してもCOMPARE機能は働きません。
- COMPARE機能終了後、録音した音声をもう一度聞くことはできません。

各モードの設定

指定時間以内に、次の操作を行ってください
指定時間以上操作を中断すると、元の画面に戻ります。

各モードのいろいろな設定ができます。
準備: 15ページの「モードの切替方法」に従って各モードに切り替える。

基本操作

例：オーディオモードで全曲リピートを設定する場合

1

機能切替画面が出るまで、押したままにする

2

10秒以内
押して、モード設定画面を表示させる

3

10秒以内
押して、再生モード(※)を選ぶ

10秒以内
押して、モードを確定する

4

10秒以内
押して、設定項目を選ぶ

10秒以内
押して、項目を確定する

5

10秒以内
押して、元の画面に戻す

次回の再生からは設定した内容で動作します。

各モードの設定

各モードに切り替えたあと、27ページの「基本操作」と同様に以下の設定をしてください。

① オーディオモードの設定項目

■ プレイリスト	プレイリストが選択できます。(☞17ページ、手順***4***,***5***)
■ サウンドモード 	**3D音場設定** **EQ設定** • 3D音場設定とEQ設定はどちらか一方しかはたらきません。どちらかの設定画面に入ると、その設定に切り替わります。
●**3D音場設定** 臨場感あるサラウンド効果 	+、- を押して選び、▶/■ を押す **ウィーク** **ナチュラル** **ストロング** **ユーザー設定**： ⏮、⏭を押して音域を選び +、-を押してレベルを設定してください。
●**EQ設定** 	+、- を押して選び、▶/■ を押す **ノーマル**：音質効果なし ※：リ マスターのON/OFF設定が可能(☞29ページ) **ロック**：インパクトを加える **ジャズ**：クラブの雰囲気を加える **ポップ**：高音部を鮮明にする **クラシック**：コンサートホールの雰囲気を加える **ユーザー設定**： ⏮、⏭を押して音域を選び +、-を押してレベルを設定してください。

(EQ設定のつづき)	※：リ マスター 圧縮時に失われた高音域を再現して圧縮前の音に近づける [▶/■]を押してから⏭、⏮でON/OFFを設定します。 **ON**： 高音域を補完 **OFF**：節電(電池寿命を延ばす)
■ 再生モード	**ノーマル**：ノーマル再生 **全曲リピート**：全曲を繰り返す 1- **1曲リピート**：一曲を繰り返す RANDOM **ランダム**：全曲を順不同に再生する
■ [i]情報表示モード 	アーティストと曲情報を約10秒間表示する
■ 削除モード	(☞32ページ、「ファイルを削除して容量を空ける」)

② FMラジオモードの設定項目

■ ステップ設定 	使用する海外の地域にあわせて周波数ステップを切り替えます。 **JAPAN(日本向け)** **50 kHz／100 kHz(海外向け)** 50 kHz：北米、中南米、東南アジアの一部 100 kHz：ヨーロッパ、東南アジア • ステップを変更すると、記憶させた放送局はすべて消えます。
■ オートプリセット	(☞20ページ、「自動で記憶させる」)

③ ボイス録音モードの設定項目

■ 録音モード

最大総録音時間のめやす
（最大記憶容量までボイスのみ録音時）

モード	SV-MP730V	SV-MP720V
HQ: ハイクオリティ(高音質)	25時間	12時間
SP: スタンダード(標準)	50時間	24時間
LP: ロングプレイ(長時間録音)	71時間	36時間

■ 速度モード

再生速度を遅くできます。
NOR：ノーマル再生
LOW：ノーマルの約75%の速さ

■ 削除モード

（☞32ページ、「ファイルを削除して容量を空ける」）

④ 語学学習モードの設定項目

■ プレイリスト

（☞17ページ、手順*4*, *5*）

■ 再生モード

（☞29ページ、オーディオモードと同じ）
ランダム設定はできません

■ リピート設定

TIME **リピート回数**：繰り返し回数
TRACE **トレースバック**：
教材の指定された部分を繰り返す
A-Bリピート：
AB区間を繰り返し再生する
T.TIME **再生時間設定**：トレースする秒数
トレースバック設定をしないと、再生時間設定は表示されません。

■ 速度モード

（☞上記、ボイス録音モードと同じ）

■ 削除モード

（☞32ページ、「ファイルを削除して容量を空ける」）

⑤ システム設定項目

システム設定は、27ページ「基本操作」の手順***1***, ***2***は不要です。

■ 言語選択

各機能の名称や確認メッセージの表示言語を切り替える

ENGLISH（英語）を選択したときは、日本語のファイル名、フォルダー名が正しく表示できないことがあります。

■ 自動電源オフ

何も操作していない状態で、自動的に電源が切れるまでの時間設定

オーディオモードと語学学習モードではたらきます。

■ バックライト調整

ボタン操作時、表示パネルのバックライトが点灯している時間の設定

■ コントラスト調整

画面のコントラスト（濃さ）を調節する

■ グラフィック表示

表示パネルで表示されるグラフィックを選ぶ

WAVE FORM：

LEVEL METER：

■ スリープタイム

設定時間経過後、自動的に電源を「切」にするスリープ機能の時間設定

スリープを設定すると、表示パネルに“.zZ”が表示されます。

OFF → 30 → 60 → 90 → 120 （分）

ファイルを削除して容量を空ける

機能(モード)別に削除範囲を選択するとファイルやフォルダーを削除できます。
15ページ「モードの切替方法」に従って削除したいモードにしたあと、

1 機能切替画面が出るまで押したままにする

オーディオ

2 10秒以内
押して、モード設定画面を表示させる

プレイリスト

3 10秒以内
押して、"削除モード"を選ぶ

10秒以内
押して、確定する

4 10秒以内
押して、削除範囲①〜③(☞33ページ)を選ぶ

10秒以内
押して、確定する

(例：TRACK選択)

TRACK1
TRACK2
TRACK3
削除しますか？

"ALL"③を選択した場合は、⏮ を押して YES を選び ▶/■ を押してください。全てのトラックやプレイリストが削除されます。

5 TRACK①、PLAYLIST②を選択時

10秒以内
押して、トラックまたはプレイリストを選ぶ

10秒以内
押して、確定する

選択したトラックやプレイリストが削除されます。

- −MODE を押すと、元の画面に戻ります。

■ 削除範囲

• TRACK①

曲(ファイル)を1曲ずつ削除

• PLAYLIST②

「PLAYER」に含まれるすべてのプレイリストを削除＝Ⓐ＋Ⓑ

プレイリストを1フォルダーずつ削除(Ⓑ内の選択されたプレイリスト)

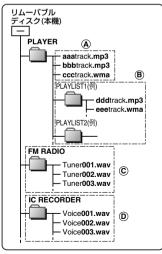
FM録音したファイルのあるフォルダーを削除＝Ⓒ

• ALL③

すべてのプレイリストと FM RADIOフォルダーを削除
＝Ⓐ＋Ⓑ＋Ⓒ（オーディオ/語学学習モード）
IC RECORDERフォルダーを削除
＝Ⓓ（ボイス録音モード）

パソコンで見たフォルダー構造

お知らせ

• FM録音したファイルはオーディオモードから削除範囲を選択して削除してください。
• 削除操作を中止する場合は［− MODE］を押してください。

データの保存

- 本機のボイス録音またはFMラジオの録音データは、パソコンにアップロード(保存)できます。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続すると、パソコンのデータを保存するためのリムーバブルディスクとして使用することができます。(☞12ページ、データ保存装置)
- 本機に録音したWMAおよびMP3ファイルはパソコン側に移動やコピーができません。移動やコピーをするとパソコンのOSが不安定になりブルーバック画面などになる場合がありますので、しないでください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

パソコンの環境によっては録音ができなかったり、録音した音楽データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音楽データの損失ならびにその他の直接／間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

ニッケル水素充電式電池について
使用後は、貴重な資源を守るためにリサイクルへ！
使用済み電池の届け先：

ニッケル水素電池使用

- お買い上げの販売店、または最寄りの松下電器の販売店・サービスセンター・販売会社へ。
- もしくは、（社）電池工業会へご確認ください。
（ホームページ：http://www.baj.or.jp）

主な仕様

記憶容量:	SV-MP730V : 1 GB SV-MP720V : 512 MB
サンプリング周波数:	**MP3** 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz **WMA** 8 kHz～44.1 kHz
対応ビットレート:	**MP3** 8 kbps～320 kbps (推奨 128 kbps) **WMA** 32 kbps～192 kbps (推奨 96 kbps)
チャンネル数:	ステレオ/2チャンネル(オーディオ、FMラジオ) モノラル/1チャンネル (ボイス録音)
周波数特性:	20 Hz～20,000 Hz (+0 dB、-6 dB) (オーディオ) 300 Hz～4,300 Hz (ボイス録音、HQモード)
受信周波数範囲(FM):	76.00 MHz～90.00 MHz (100 kHzステップ) および TV 1～3 cH (JAPAN) 87.50 MHz～108.00 MHz (50／100 kHzステップ)
実用最大出力:	4.5 mW + 4.5 mW (16 Ω, M3ジャック)
電源:	DC 1.2 V (付属充電式電池×1個)
電池持続時間(再生時)※1:	約10時間 (オーディオ)※2 約5時間 (FMラジオ)
電池持続時間(録音時)※1:	約9時間 (ボイス録音、HQモード) 約5時間 (FMラジオ)
本体寸法(幅×高さ×奥行):	70.0 mm × 22.2 mm × 14.0 mm
質量:	約36.2 g (充電式電池含む) 約23.5 g (充電式電池含まず)
ACアダプター電源:	入力：AC100 V　50 Hz/ 60 Hz　7 VA

ACアダプター　電源「切」時の消費電力：約0.1 W

- 再生時間は、使用条件によって短くなる場合があります。
- 1 GBは1,000,000,000バイトです。1 MBは1,000,000バイトです。使用可能領域は表示容量より少なくなります。

※1 充電式電池がフル充電時

※2 表記の再生時間は、ビットレート:128 kbps(MP3)、EQ設定:ノーマル、音量:11、バックライト:消灯時の場合です。

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店へご相談ください。

症状	確認・処置
操作できない	• ホールド状態になっていませんか？(☞15ページ) • 充電式電池が消耗してませんか？(☞4ページ)
勝手に電源が切れる	• スリープタイムが設定されていませんか？(☞31ページ) • 自動電源オフがはたらいていませんか？(☞31ページ)
充電しても再生時間が短い	• 初めての充電や長時間未使用後の充電では短いことがあります。何回か使用すると戻ります。 • 充電しても再生時間が極端に短い場合は、充電式電池の寿命です。充電可能回数は約300回です。
音が聞こえないまたは雑音がする	• インサイドホンのプラグは奥まで入っていますか？(☞15ページ) • プラグが汚れていませんか？ • 音量が最小になっていませんか？(☞14ページ) • テレビや携帯電話などに近づけていませんか？
停止したところから演奏できない(リジューム機能が働かない)	• パソコンとUSB接続したりACアダプターを接続しませんでしたか？ また充電式電池を抜き差ししませんでしたか？
1曲目から再生できない	• 再生モードが“ランダム”になっていませんか？(☞29ページ) • 最後に止めた曲から再開します。最初の曲へ戻るには ⏮ (スキップ)を押してください。
動かない	• 充電式電池を約5秒間取り出したあと再度挿入し、電源を入れてみてください。それでも改善されない場合は、リセットしてください。ただし録音した**全ての曲が消去され**、お買い上げ時の設定に戻ります。デモ曲も消去されます。 リセット手順 ① [HOLD▶] を右へ(ホールド状態)　② 電源を入れる ③ [－MODE] を3回押す　④ [REC/STOP ●] を押す リセットが終了し、電源が「切」になります。
表示パネルが明るすぎる/暗すぎる	• コントラストを調整してください。(☞31ページ)
充電中、ACアダプターと本機が熱くなる	• 多少熱くなりますが、異常ではありません。

起動時“Wait...”表示が出たままになる	• 曲を本機に録音後など、USBケーブルを外して電源を入れると、本機の曲データを読み取る間“Wait...”が表示されます。録音された曲数やフォルダー数により表示時間が異なります。

(例)

120曲・10フォルダー	約20 秒
350曲・19フォルダー	約2 分
500曲・49フォルダー	約4 分 (SV-MP730V)

■ こんな表示がでたら

NO TRACK PLAY	• 音楽ファイルがありません
LOW BATTERY	• 充電式電池が消耗しています。充電してください。(☞4ページ)
NO BATTERY	• 充電式電池が入っていません。充電式電池を入れてください。(☞4ページ)
HOLD	• ホールド状態です。(☞15ページ)
MEMORY FULL	• メモリーがいっぱいです。
TRACK OVER	• 最大録音曲数を超えて記録できません。 最大録音曲数 **SV-MP720V** 383 曲(ファイル) **SV-MP730V** 511 曲(ファイル)
PROTECTED	• 曲が保護されているため、このままでは本機で再生できません。Windows Media Playerを使ってパソコン上の曲を本機に転送し、再生してください。 **WMP9の場合** ① 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する ② WMP9の［デバイスへ転送］をクリックする ③「デバイス上の項目」で本機(例：ﾘﾑｰﾊﾞﾌﾞﾙ ﾃﾞｨｽｸ(※:))を選択し、PLAYERフォルダーを選択する ・※は本機のドライブの IDです。 ④「転送する項目」で転送する曲を選択する ⑤［転送］ボタンをクリックする ⑥「完了」表示を確認後、USBケーブルを外す ・本機への転送が完了します。 **WMP10の場合**（☞11ページ、曲ファイルを転送する場合）

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠危険

充電式電池は本機を使って充電する

- 本機以外で充電すると、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。
- 充電式電池は必ず指定のものをご使用ください。

⚠危険

充電式電池は、はんだ付け、分解、改造したり、火の中へ投入、加熱はしない

- 電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

⚠警告

分解禁止

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

- 内部の点検や修理は、販売店にご依頼ください。

乗り物を運転中に操作したりステレオインサイドホンで使わない

事故の原因になることがあります。

- 歩行中でも周囲の状況に十分ご注意ください。

充電式電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

充電式電池の ⊕ と ⊖ をショートさせない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

- ネックレスなどの金属物といっしょに携帯、保管する場合は、必ず付属の充電式電池ケースに入れてください。

⚠警告

充電式電池の チューブを絶対にはがさない

電池の液もれや、発熱、破裂の原因になります。

- 電池には安全のためにチューブをかぶせています。これをはがすとショートの原因になります。はがれたものは使わないでください。

ぬれ手禁止

ぬれた手で、ACアダプターの抜き差しはしない

感電の原因になります。

接触禁止

雷が鳴ったら、本機やACアダプターのプラグに触れない

感電の原因になります。

ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使わないでください。

ACアダプターのプラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使わないときは、ACアダプターを抜いてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100 V以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

⚠注意

付属のACアダプターを使う
指定外のACアダプターで使用すると火災や感電の原因になることがあります。

ネックストラップの取り扱いに注意する
誤って突起物に引っかかった場合、首を絞める恐れがあります。

ステレオインサイドホン、ネックストラップなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する
そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない
特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約60 ℃以上)になります。本機やACアダプターなどを絶対に放置しないでください。機器表面や内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。

音量を上げすぎない
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

故障防止のために本体・ACアダプターは、以下の場所で使用・保管しないでください。

- 雨水、水滴がかかるところ
- 倉庫などほこりが多いところ
- 風呂場など湿気が多いところ
- 腐食性のガスなどが発生するところ

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…
- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理相談窓口」へ！
- 使いかた･お買い物などのお問い合わせは､「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください、よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、デジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品を、製造打ち切り後6年保有しています。

注）補修用性能部品とは､その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

36～37ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、まずACアダプターを抜いてお買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	デジタルオーディオプレーヤー	お買い上げ日	年 月 日
品番	SV-MP730V/SV-MP720V	故障の状況	できるだけ具体的に

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い
松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル パナソニック **お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル パナソニック **修 理 ご 相 談 窓 口**

ナビダイヤル（全国共通番号） **0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

ナショナル パナソニック 修理ご相談窓口

北海道地区

札幌 札幌市厚別区厚別南2丁目17-7 ☎ (011)894-1251

旭川 旭川市2条通16丁目1166 ☎ (0166)22-3011

帯広 帯広市西19条南1丁目7-11 ☎ (0155)33-8477

函館 函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）☎ (0138)48-6631

東北地区

青森 青森市第二問屋町3-7-10 ☎ (017)739-9712

秋田 秋田市東通り2丁目1-7 ☎ (050)5519-6348

岩手 盛岡市羽場13地割30-3 ☎ (019)639-5120

宮城 仙台市宮城野区扇町7-4-18 ☎ (022)387-1117

山形 山形市平清水1丁目1-75 ☎ (023)641-8100

福島 福島県安達郡本宮町字南ノ内65 ☎ (0243)34-1301

首都圏地区

栃木 宇都宮市御幸町194-20 ☎ (028)689-2555

群馬 前橋市箱田町325-1 ☎ (027)254-2075

茨城 つくば市花畑2丁目8-1 ☎ (029)864-8756

埼玉 桶川市赤堀2丁目4-2 ☎ (048)728-8960

千葉 千葉市中央区星久喜町172 ☎ (043)208-6034

東京 東京都世田谷区宮坂2丁目26-17 ☎ (03)5477-9780

山梨 甲府市宝1丁目4-13 ☎ (055)222-5171

神奈川 横浜市港南区日野5丁目3-16 ☎ (045)847-9720

新潟 新潟市東明1丁目8-14 ☎ (025)286-0171

中部地区

石川 石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80 ☎ (076)294-2683

富山 富山市寺島1298 ☎ (076)432-8705

福井 福井市開発4丁目112 ☎ (0776)54-5606

長野 松本市大字笹賀7600-7 ☎ (0263)86-9209

静岡 静岡市駿河区西島765 ☎ (054)287-9000

名古屋 名古屋市瑞穂区塩入町8-10 ☎ (052)819-0225

岐阜 岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30 ☎ (058)323-6010

高山 高山市花岡町3丁目82 ☎ (0577)33-0613

三重 久居市森町字北谷1920-3 ☎ (059)255-1380

近　畿　地　区

滋賀 守山市勝部6丁目2-1 ☎ (077)582-5021	**大阪** 大阪市北区本庄西1丁目1-7 ☎ (06)6359-6225	**和歌山** 和歌山市中島499-1 ☎ (073)475-2984
京都 京都市伏見区竹田中川原町71-4 ☎ (075)672-9636	**奈良** 大和郡山市筒井町800番地 ☎ (0743)59-2770	**兵庫** 神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6 ☎ (078)272-6645

中　国　地　区

鳥取 鳥取市安長295-1 ☎ (0857)26-9695	**出雲** 出雲市渡橋町416 ☎ (0853)21-3133	**広島** 広島市西区南観音8丁目13-20 ☎ (082)295-5011
米子 米子市米原4丁目2-33 ☎ (0859)34-2129	**浜田** 浜田市下府町327-93 ☎ (0855)22-6629	**山口** 山口県吉敷郡小郡町下郷220-1 ☎ (083)973-2720
松江 松江市平成町182番地14 ☎ (0852)23-1128	**岡山** 岡山市田中138-110 ☎ (086)242-6236	

四　国　地　区

香川 高松市勅使町152-2 ☎ (087)868-6388	**高知** 高知市仲田町2-16 ☎ (088)834-3142	**愛媛** 松山市土居田町750-2 ☎ (089)971-3644
徳島 徳島市沖浜2丁目36 ☎ (088)624-0253		

九　州　地　区

福岡 春日市春日公園3丁目48 ☎ (092)593-9036	**大分** 大分市萩原4丁目8-35 ☎ (097)556-3815	**天草** 本渡市港町18-11 ☎ (0969)22-3125
佐賀 佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044 ☎ (0952)26-9151	**宮崎** 宮崎市本郷北方字草葉2099-2 ☎ (0985)63-1213	**鹿児島** 鹿児島市与次郎1丁目5-33 ☎ (099)250-5657
長崎 長崎市東町1949-1 ☎ (095)830-1658	**熊本** 熊本市健軍本町12-3 ☎ (096)367-6067	**大島** 名瀬市長浜町10-1 ☎ (0997)53-5101

沖　縄　地　区

沖縄 浦添市城間4丁目23-11　☎ (098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0505

Operating Instructions 英語の簡易操作説明

■ Initially set the LANGUAGE in Setting mode to English

① Playing tracks (MUSIC mode)

1.Turn the unit on.
(Press and Hold [▶/■])

2.Select MUSIC. (Press [⏮] or [⏭])

3.Select the play list.
(Press [−] → Press [▶/■] →Press [+] or [−] → Press [⏭] → Press [+] or [−])
To play recordings, select the FM RADIO play lists.

4.Start play. (Press [▶/■])
Play stops at the end of the list.

② Voice recording (IC RECORDER mode)

1.Turn the unit on.
(Press and Hold [▶/■])

2.Select IC RECORDER.
(Press [⏮] or [⏭]→Press [▶/■])

3.Start recording. (Press [REC/STOP ●])

4.Speak into the microphone.

③ Using the FM radio (FM RADIO mode)

1.Turn the unit on.
(Press and Hold [▶/■])

2.Select FM RADIO.
(Press [⏮] or [⏭]→Press [▶/■])

3.Select manual or preset mode.
(Press [− MODE])

4.Select the station. (Press [⏮] [⏭])

④ Using the language learner (LEARN mode)

• TRACE BACK

1.Turn on the TRACE BACK function.

2.During play, **press [− MODE].**

3.Listen to the model recording.

• COMPARE

1.Start play.

2.Press [REC/STOP ●].

3.When "RECORDING" appears, **speak into the microphone.**

4.Press [REC/STOP ●].

5.When "PLAYING" appears, **listen to the model recording and your recorded voice.**

⑤ Setting mode

LANGUAGE, AUTO OFF, BACKLIGHT, CONTRAST, SOUND GRAPHIC, SLEEP TIME

＜切り取り線＞

＜無料修理規定＞

1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。

2.ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。

3.ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。

4.保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご添付がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。

5.本書は日本国内においてのみ有効です。

6.本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

7.お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
（ご相談窓口一覧表を同梱の場合）
お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic®

持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	SV-MP730V/SV-MP720V
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　　　　様 電　話（　　）　ー
※販売店	住所・氏名 電話（　　）　ー

松下電器産業株式会社
パナソニックAVCネットワークス社
ネットワーク事業グループ

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

<切り取り線>